

敦賀を ひろげる19人と 3つのアイディア



「敦賀をひろげるプロジェクト」とは？

2024年3月16日の北陸新幹線敦賀開業に向けて、敦賀を盛り上げ、敦賀の魅力を発信する取り組みです。敦賀に住む・働く様々な方が所属を超えて、学校の同級生やサークルの仲間のようにフラットに繋がりながら、「敦賀をこんな街にしたい」「こんなことができたら面白そう」というアイデアを持ち寄り、それぞれの得意分野を活かして、街づくりに挑戦中！

敦賀をひろげる 19人 2期生の活動の軌跡

STEP 01 チーム作り

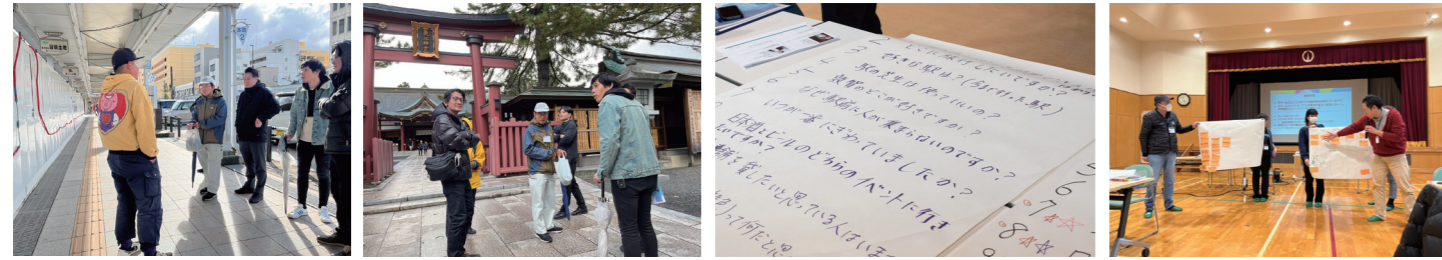
2023年10月から約半年にわたって取り組んできた「敦賀をひろげるプロジェクト第2期」。年齢や所属も多様な19人が敦賀市内外から集まりました。参加者同士、想いを共有し、どんな未来を描いていきたいか、意見交換をしながら、3つのチームが誕生しました。



「敦賀を魅力ある町にしたい」「敦賀を訪れた人に何をアピールできるか」チーム内で検討を重ね、時には実際に敦賀市内に出てフィールドワークを行ったり、市内の関係者にお話を聞いたりして、アイデアを膨らませていきました。

アイデア検討

STEP 02



企画の実行にむけて、どんな情報を集めると良さそうか、活用できそうなリソースはあるか、誰に協力を仰ぐとよさそうか…ときにチームの枠を超えながら、チームで考えを深めていきました。12月に行われた中間発表会では、協力を得たい方や意見を聞きたい方などを自分たちで広くお招きして、各チームの企画に対してアイデアやフィードバックをいただきました。

STEP 03 ノウハウ学習



事務局として活躍した1期生メンバー

5名の1期生が運営事務局として、ワークショップのファシリテーションや2期生へのアドバイス等、「敦賀をひろげるプロジェクト第2期」を全力でサポートしてくれていました！



STEP 04 企画実行

2月16日(金)に行われた最終報告会。半年間にわたって2期生が考えてきたこと、学んだこと、そして今後このメンバーでどんなことを実行していきたいか。各チームからアクション宣言が行われました！

Team 1 敦賀 Re探Q (とんがりたんきゅう)

金崎宮の魅力をもっと多くの人に知ってもらうために、どんなことができるかを考え、まずは敦賀に在住若しくは在勤の方へアンケート調査や金ヶ崎町区長や北公民館館長、金崎宮の宮司へのヒアリングを重ねました。そこで収集した意見を参考に、チームとして6つのアクション案を掲げました。

- ①金崎宮での奉仕活動
- ②7本の桜の植樹
- ③金崎宮に関する説明が読めるパネルの設置
- ④YouTubeへの動画投稿
- ⑤花換まつりの紹介漫画作成
- ⑥金崎宮の階段改善

アクション宣言

まずは直近の活動として、3月初旬~中旬にかけてオリジナルの服を着て「金崎宮での奉仕活動」(=ゴミ拾いや清掃活動)を行い、その様子をYouTubeに投稿します！



Team 2 敦敦いっぱい (つるつるいっぱい)

「敦賀PRIDE (=敦賀をもっと好きに、もっと誇れる街にしたい)」を醸成し、観光客や市民の皆さんに敦賀をもっと知ってもらいたい。そのための企画として、「敦旅」を企画！クイズを解きながらさまざまなチェックポイントを歩いてめぐるウォーキングイベントです。チェックポイントには、敦賀の名所、景勝地、旬な人・場所、住民のみぞ知るおすすめスポットをピックアップします。チェックポイントの候補地として「なかいけみカフェ」のイベントにも参加してお話を聞きました！

アクション宣言

2024年5月に第1回「敦旅」を実施します！まずは実施に向けて小規模なルートを選定、クイズも制作していきます。市民参加型のウォーキングイベントですので、開催されましたらぜひご参加ください！



Team 3 ブル-零再生 (ぶる-れいさいせい)

当初から県外の方々に松本零士先生のモニュメントをPRしたい！という強い想いをもち、どうしたら県外に情報発信し、認知してもらえるか5か年計画で考えました！敦賀の財産であるモニュメントを活用して、敦賀にたくさんの方に来てもらい、宿泊・飲食してもらうことで敦賀を盛り上げていきたいです。

アクション宣言

8月末を目処に2回まずはメディアに取り上げてもらえるように頑張ります！また、駅前商店街と協力して、GWを目処にモニュメントの一部をライトアップする企画を検討中です！



敦賀をひろげるプロジェクトに参加して感じたこと



れいさいせい
ブルー零再生 松永さん (敦賀信用金庫)

当初は敦賀を盛り上げるために何がやりたいのか、一人では思いつくのは難しいと感じていましたが、ワークショップを重ね、他の方と話すうちに、チームリーダーでもある村上さんのお話に共感するようになりました。松本零士先生のモニュメントという、敦賀に今ある財産を使って、敦賀を盛り上げたい！という気持ちがプロジェクトに参加することで強くなっていました！チームの企画の実現にむけて今後も活動していきたいです！

つるつる
敦敦いっぱい 林さん (敦賀市役所)



職場以外の人と新しい企画を作り上げていく経験ができたのが1番大きな収穫でした。一過性のものではなく、活動を続けていくためにはどうしたら良いのか。様々な立場の方からお話を聞くことができたのも非常に勉強になりました。今後は企画の深掘りについて、チームのみんなと考えながら、活動に繋がれたらと思っています！

2期生からのコメント

とんがりたんきゅう
敦賀 Re 探求 波多野さん



想いの強いメンバーが集まり、チームの方針が固まるまで苦労もありましたが、諦めずに話し合いを続け、行動し続けた結果、最終報告会では「チームとして目的を一つに絞れていて非常に良かった」と講評いただき安心しました。私が推していた金崎宮に焦点をあてることにチームも賛同してくれたのも、嬉しかったです。若い人たちと一緒にどんなことができるのか、を楽しみにこのプロジェクトに参加しましたが、多様なメンバーと一緒に協力して作り上げることができて良かったと思っています！

運営事務局メンバー
東さん (敦賀市シルバー人材センター)



事務局運営やファシリテーションは初めての挑戦でした。2期生一人ひとりのこと、全体のこと、個々の役割…考えることだらけで、運営の大変さも身に染みしました。個人的には、加生さん(師匠)からできるだけたくさん吸収しようと毎回汗をかきながら必死でした。笑
なかなかできない経験をさせて貰ったので、自分が所属するゼロイチの活動にも役立てていきたいと思っています！

運営事務局メンバー 高畑さん (株式会社マツバ)



1期生として、今回伴走支援の役割を頂き、正直不安もありましたが、皆様の協力で自分のカラーが出せたように感じています。2期生ともワークや懇親会等で交流も深めることができ、これからがスタートだ！という気持ちです。今後とも、皆様とのご縁を大切に活動していきます。事務局の皆様、リーダーズメンバー、2期生メンバーからも沢山の出会いと学びを頂く事ができ、充実した1年になりました。ありがとうございました！

1期生からのコメント

NPO法人 THAP (タッフ) 藤森 和明

各チームの発表で皆さんが発言していた共通の言葉は「人の関わり」だったと思います。これからもテンションを高くして、たくさんの人と関わり、刺激を受け、枠に収まらず、斬新な活動を続けられることを期待いたします。この町がもっと住み良い町になるようにとも頑張ります！

敦賀市役所 中村 大哉

皆さんの周りにはすでに縁でつながったパワフルな人たちがたくさんいます。一人では難しいことも仲間が集まれば実現できます。新幹線開業もひとつのきっかけ、敦賀をひろげるプロジェクトもひとつのきっかけとして、みんなで敦賀の盛り上がりを大きなもの、継続したものにしていきたいと思います。

敦賀市タウンマネージャー 阿部 俊二

「元気の“たね”を育てよう！」
これからの皆さんにとって大切なエネルギーの一つが「肯定=受け入れるチカラ」です。自分と仲間を認めて、そして褒めてください。「よかつ“たね”」「やつ“たね”」「頑張つ“たね”」「たね」をいっぱい育てましょう。
人の意見に真摯に向き合い、より良い方向を目指すためにも本当に必要なことです。これから様々なことに直面すると思いますが、是非この言葉を胸に前に進んでいってください。

2期生への応援コメント

主催

敦賀をひろげるプロジェクト事務局 敦賀市 / 株式会社ニューピース
お問い合わせ先 敦賀市 Mail : shinyu@ton21.ne.jp